

过新年

H さん

正月二日是首次参拜。

今年也迎来了新年。但是每当元旦来临，寿命也就相应地减少一年，剩下的人生也少了一年。

到了这样的年纪，虽然迎接新年高兴还是高兴的，但是我觉得有些凄凉。

我的新年，每年是固定的。元旦是什么都不做。

新年的祝贺结束之后，我就在家里呆着，看贺年片，和往常一样看了电子邮件。很无聊的一天。

新年首次参拜是 2 日，和妻子一起去了京都的伏见稻荷大社。在人群中，和其他人们一起秩序井然地排队参拜。

日本人真的是在哪儿都是品行良好的。

放香资，鸣铃之后，还要鞠两个躬，拍两次手，随后再鞠一个躬。

我们家亲戚的宗教是“天理教”，葬礼等的参拜是鞠两个躬，拍四次手，鞠一个躬、又拍四次手，随后再鞠一个躬。是“二礼四拍手一礼”，再加上“四拍手一礼”。

虽然是同样的祭祀神道的神灵的宗教，但是方式稍微不同。

据说那个“月下老人”有名的神社出云大社是“二礼四拍手一礼”的方法。

参拜的同时可以向神灵许愿。一般来说，祝愿今年一年的健康和幸福，不过，我还有其他的愿望。

但是这是秘密。还没有实现。

参拜结束后，下一步就是抽“神签”。

因为我的妻子是合理主义者、所以从来不抽签,但是我经常抽签儿。那么，我是梦想主义者吗？不，我只是享受仪式。

（那么说来，从中国来的友人们一起去神社时，他们也抽神签，他们也是享受这个仪式吧。但是写的意思是否明白了我就知道了。总之大家是否真心享受了这种仪式才是最重要的）

这个仪式结束以后接下来到处逛逛，看看货摊。无论怎样，有一个东西一定要买。

那是京都前田制果的婴儿蛋糕。啊！什么是婴儿蛋糕？

直译的话就是婴儿蛋糕。

在台湾的摊子上被称为“蛋糕”的，实际上和东京的浅草的“人形烧”相似。

在比如四川省被称为“梅花蛋糕”的。和香港的“鸡蛋仔”的烧烤点心都非常相似。

然而，果然最美味的还是这个前田制果摊的烧烤点心。

嗯！没错。

为了买这个需要长时间排队，至少需要大概 40 分钟到 1 个小时左右吧。平时 1000 日元一袋的商品这时可以买两袋。不过回家之前，这个必须由我来管理。

因为如果交给妻子的话，也许她会 1 袋全部吃掉的。尽管如此回家之前大部分都被妻子消灭了。

到底是怎样的胃呢？实在是不可思议。

每年，像这样的新年的第二天也就结束了。

~~~~~

## 日本語訳

正月 2 日は初詣。

今年も正月を迎えることが出来た。

でも正月が来るたびに、寿命が減っていった。残りの人生も少なくなった。

この歳になったら、正月はおめでたいことはめでたいが、少し心寂しくもある。

私の正月は、毎年決まっている。元旦は何もしない。

新年のお祝いが終われば、家でじっとしてる。

年賀状を見て、いつもと同じ様にメールを見る。退屈な 1 日になる。

初詣は、2日、京都の伏見稻荷神社に妻と一緒にいく。

人ごみの中、他の人達と同じく順序よく並んでお参りする。

本当に日本人はどこでも行儀が良い。

賽銭を入れ、鈴を鳴らしてから、二回お辞儀をし、二回手をたたき、更にもう一回

お辞儀をする。

私の親戚の宗教は”天理教”で、葬式などでのお参りは、二回お辞儀し、四回手をたたき、

一回お辞儀、又、四回手をたたき、そして一回お辞儀で終える。「二礼四拍手一礼」更に

「四拍手一礼」が加わる。同じ神道の神を祭る宗教ではあるが、やり方は少し異なっている。

あの縁結びの神様で有名な神社”出雲大社”は、「二礼四拍手一礼」の方法だそう。

参拝と同時に神に対して願い事をする。一般的に今年一年の健康と幸福を願うが、私は更に

他のことも願う、でもそれは秘密だ。でも叶ったことは無い。

参拝が終わると次は、「おみくじ」を引く。

私の妻は合理主義者でおみくじなどは一切しないが、私はよくする。

ん、僕は夢想主義者？いや、セレモニーを楽しむだけだ。

(そう言えば、中国から来た人達と神社と一緒にいくと、彼らもおみくじを引く。

彼らもこのセレモニーを楽しむ。でも書いてあることの意味が分かっていたのかどうかは

分からない。要はみんなが心から楽しめたかどうかが一番大事なことだ。)

このセレモニーが終わると、次は屋台巡りだ。何があっても必ず買うものが、一つある。

それは、京都前田製菓のベビーカステラだ。

えっ！赤ん坊ケーキって何？直訳すればそのまま赤ちゃんのケーキとなる。

台湾の屋台ではカステラと呼ばれていた。どちらかと言えば、浅草の人形焼に近い。

四川省で良く似たのが”梅花ケーキ”。

香港ですごく似ているのが「鸡蛋仔」という焼き菓子だ。

けれど、やはり一番おいしいのは、この前田製菓の屋台の焼き菓子だ。ん！

間違いない。

これを買うために長時間並ぶ。大体40分から一時間ぐらいは並ばねばならない。

1,000円の袋を2個買うが、家に帰るまでは僕が、これを管理しなければならない。

妻に渡すと1袋全部を食べてしまうかも知れないからだ。

それでも家に帰るまでにはほとんど妻の胃袋に収まってしまふ。

(が食べてしまふ。)

一体どういった胃袋なんだろうか？実に不思議だ。

毎年、このようにして正月の二日目も終わる。